

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	緑とうるおい豊かな生活環境づくり	施策No	08-01	部課名	防災都市づくり部道路公園課			
				課長名	大木 内線 2730			
関連部課名	防災都市づくり部防災街づくり推進課、施設管理課							
行政評価事業体系	分野	環境先進都市						
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成					
目的	緑あふれ、潤いと安らぎの場である公園を区民に提供し、誰もが快適と感じる生活環境をつくる。また、街なかにも緑のあるオープンスペースを確保することにより、街の防災性を向上させ、区民の生命財産を守る。							
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		26年度	27年度	28年度				
	生活環境の充実	3.13	3.19	3.22		お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	子育て・教育環境の充実	3.46	3.46	3.43		お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間が行政かを問わず）が充実していると思いますか？		
	防災性	2.34	2.28	2.31	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？			
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明		
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み		目標値(38年度)	
	公園・児童遊園面積（ha）	42.8	42.9	43.4	43.4		48.0	
	都電沿線バラの株数（株）	13,440	13,440	13,490	13,490		15,000	植栽株数(約)
	街なか花壇の数（か所）	81	90	94	100		152	最終目標：全町会への設置

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費		140,136		地方税等		0	
	物件費		350,420		国庫支出金		4,397	
	維持補修費		25,673		都支出金		5,173	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		7,857		使用料及び手数料		16,501	
	減価償却費		69,199		その他		2,202	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		28,273	
	賞与・退職給与引当金繰入額		7,483		行政収支差額(a)-(b)=(c)		776,227	
	その他行政費用		203,732		金融収支差額(d)		738	
行政費用合計(b)		804,500		通常収支差額(c)+(d)=(e)		776,965		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		776,965		
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	流動資産				流動負債		31,411	
	収入未済		0		還付未済金		0	
	不納欠損引当金		0		特別区債		24,400	
	その他の流動資産		0		賞与引当金		7,011	
	有形固定資産		28,885,697		その他の流動負債		0	
	土地		28,102,783		固定負債		122,109	
	建物		934,211		特別区債		24,400	
	建物減価償却累計額		494,693		退職給与引当金		97,709	
	工作物等		3,291,775		その他の固定負債		0	
	工作物等減価償却累計額		2,948,380		負債の部合計		153,519	
	無形固定資産		0		正味財産		28,745,298	
建設仮勘定		5,670		正味財産の部合計		28,745,298		
その他の固定資産		7,450		負債及び正味財産の部合計		28,898,817		
資産の部合計		28,898,817						

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成18年度には41.6haであった公園等の面積を着実に増加させ、平成28年度には43.4haとなった。</p> <p>都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを提供するため、バラの植栽数の増加に取り組んでおり、平成18年度の12,600株から、平成28年度には13,490株に増加した。</p> <p>区内に花と緑の空間を創出していくために、区民が主体となる花壇づくりを支援し、街の環境美化と区民のコミュニティの醸成を図っている。その結果、平成18年度の13か所から、平成28年度には約7倍の94か所まで街なか花壇が増加した。</p> <p>財務諸表の項目では、行政コストとして物件費が大きな割合を占めており、公園管理事業や児童遊園管理事業など、安全、快適、清潔な公園の維持管理に取り組んでいる。</p>
課題	<p>『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている、公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。</p> <p>都電沿線バラの植栽数を増やすとともに、バラを区民とともに育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動をより一層充実させる必要がある。</p> <p>「街なか花壇」は地域偏在があるため、花壇数や協力者の少ない地域には、更なる協力を呼び掛けるとともに、各団体、ボランティアの高齢化が目立ってきたため、若い世代もボランティアに参加を促す必要がある。</p>
今後の方向性	<p>公園等面積の整備目標の達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる用地の確保に努める。</p> <p>都電沿線の公園等で積極的にバラを植栽するとともに、「荒川バラの会」の活動と併せ、都電沿線を区の「みどりの軸」「景観軸」として更に発展させる。さらに緑化推進のシンボルとしてPRするとともに、区の観光資源や商店街の振興策としても活用を図っていく。</p> <p>「あらかわ園芸名人」と「街なか花壇」、「荒川バラの会」の活動を連動させるとともに、町会等との連携も図り、若い世代によるボランティア活動への参加を促し、活性化を図っていく。また、防災スポットの整備に併せて「街なか花壇」の設置を検討するなど、防災性の向上とともに身近な緑の増加に努めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	花と緑があふれる、快適な、かつ愛着のわく街を創出していく必要がある。 また、街の防災性向上のためにも、目標とする公園等の面積確保に向けて、積極的に取り組む必要がある。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のため の分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
都市計画公園用地取得事務	11-02-18	7,417	9,791	重点的に推進	推進	区の計画を踏まえ、取り組みを強化し推進する。
屋外広告物事務	11-03-02	521	2,622	推進	推進	屋外広告物を規制することは、良好な景観の形成等に貢献する事業である。
みどりの条例関係事業	11-04-21	5,739	5,727	重点的に推進	重点的に推進	既存の緑の保護や緑化の啓発など、区の緑化推進に貢献する事業である。
都電沿線バラ植栽事業	11-04-22	20,998	15,095	重点的に推進	重点的に推進	区民の満足度も高く、観光の視点からも重要な事業である。
あらかわバラの市	11-04-23	6,336	6,526	推進	重点的に推進	緑化のPR効果の高さに加え、観光や商店の活性化の視点からも重要な事業である。
区民主体の街なか花壇づくり事業	11-04-24	11,433	13,825	推進	推進	区民と協働して花と緑のまちづくりを進めるための重要な事業である。
花の公園整備事業	11-04-25	3,971	6,476	継続	継続	花と緑のまちづくりのモデルとして、今後も継続する必要がある。
公園管理事業	11-04-26	222,270	221,130	推進	推進	快適に利用できるよう、適正に公園を維持管理する必要がある。
児童遊園管理事業	11-04-27	60,797	59,899	推進	推進	快適に利用できるよう、適正に児童遊園等を維持管理する必要がある。
公衆トイレ管理事業	11-04-28	25,554	24,780	推進	推進	区のイメージアップのためにも、トイレ利用者が快適に利用できるよう管理する必要がある。
公園改良事業	11-04-29	33,917	37,293	推進	推進	公園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

公園新設拡充事業	11-04-30	87,348	2,108,073	重点的に推進	重点的に推進	緑の拠点となる公園の整備は、緑の量的な充実に直接結びつくものである。
児童遊園改良事業	11-04-31	10,331	16,478	継続	継続	児童遊園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。
児童遊園新設拡充事業	11-04-32	39,434	79,911	継続	推進	児童遊園の整備は、子育て支援策や街の防災性向上にも効果的な事業である。
公衆トイレ新設改良事業	11-04-33	373	394	推進	推進	経年とともに劣化していく施設であり、継続して推進していく。また、設置基準を満たしていない地域への対応を考える必要がある。
グリーンスポット整備事業	11-04-34	6,773	0	継続	継続	グリーンスポットは公園や児童遊園を補完するとともに、街の防災性の向上にも効果がある。
合計		543,212	2,608,020			